

ちびっこ チャンピオン

「おには そと ふくは うち！」

めぐみこども園のなかよしたち

(左から)

- おおかわ けんしょうくん (6さい)
- やまざき ゆずきくん (6さい)
- くどう そうしくん (6さい)
- あさり ゆ あさん (6さい)

このコーナーでは、元気いっぱいな園児達の作品をご紹介します。



深浦町の花



福寿草

深浦町の木



樺

深浦町の鳥



カモメ

発行／青森県深浦町 編集／総合戦略課企画調整係
0173-741211 (代表)



3月生まれのお子さんの写真を募集します！

問合せ先 総合戦略課 TEL 74-2122 E-mail kouhou@town.fukaura.lg.jp

- ◆対象 令和5年3月に1～5歳の誕生日を迎える町内在住の子
- ◆掲載内容 子供の写真、氏名(ふりがな)、住所(地区のみ)、生年月日、お子さんに一言メッセージ
- ◆応募方法 郵送または持参の場合：プリントした子供の写真1枚に、①子供の氏名(ふりがな)、②生年月日、③性別、④住所、⑤保護者名(広報には掲載しません)、⑥電話番号、⑦お子さんに一言メッセージを記入したものを添えてください。メールの場合：件名に「こんなに元気で」と記入し、本文に上記①～⑦を記入のうえ、写真データを添付して送信してください。応募締切は今月の27日です。

草創教育長の「今月の一枚」

寒い夜と浮気

今宵、上空には「十年に一度の寒波」が
いるそうです。

こんな寒い夜、つらつら昔をふり返るに、あらためて私は浮気者だったなあと反省します。

今回は、ドキドキするような浮気物語です。(笑)

「ダガレネッコ」という言葉を使ってみました。漢字だと「抱かれ寝っこ」？ 艶っぽい意味ではなく、幼子の添い寝を表す言葉だと思えます。

祖父、祖母、母。その中から、夜ごとの「ダガレネッコ」の相手を選べる特権が私にはあったのです！

今頃の寒い晩は、稲わらの入ったシブ布団の温かさど昔っこの面白さに
つられて、相手はダントツ祖父でした。

十八番の昔っことは、「おかねぐ、おがしたぐ、くせ話こ」(以前作った切り絵風の紙芝居があるので見てください)

山の鬼が人を食おうと里に下りてきて、ある家をのぞいたら、男がプクンとくさい屁をこいた。鬼は男を食うのも忘れて笑って山へ帰っていった。

ストーリーはごく単純、話もすぐ終わり。祖父のオリジナルかどうかはわかりません。



でも、何度聞いてもあきないのが幼心にも不思議でした。今分析すると、祖父の絶妙な語り方、ナンセンスギャグのようなおかしみ、シブ布団独特の世界観：さまざま理由はありそうです。

布団の中は、家族の愛情を誰にも邪魔されずたたく身に受けられる濃密な空間です。いわば、完璧な「安心基地」。そこで、好きな話を好きなだけ聞けるわけですからたまりません。

それに、母は母で、祖母は祖母で、祖父とはまた一味違った話を聞かせてくれる語り部でしたから、「今日は、おぼっちゃやどダガレネッコするべし。」と、秋波を送られるとホイホイついていく訳です。

実に節操のない浮気ですね。

家の中に語り部はいますか？ 昔話の語り聞かせでも、絵本の読み聞かせでも、つくり話でも何でもいいと思います。

子どもと肌がふれるような近い距離で、豊かな言葉を生の声で届けることが大切です。

以前、子どもに「まんが日本昔話」のビデオ全巻買ってやったと自慢する同僚がいて失笑したものです。テレビやスマホ、メデア機器に子育て代行させるのは愚の骨頂です。

機械だと浮気もできません(笑)
(教育長 草創 文人)